

MODEL GCM-200



概要

SOKKEN MODEL GCM-200 は、ガソリンおよびディーゼルエンジンの排気圧力計測用に使用される圧力計測システムで、DC ~ 5kHz までの排気圧力を計測いたします。排気は圧電型センサにより脈動圧力を、平均圧力は熱遮断した細管とストレインゲージ圧力センサを用いて計測し、ハイパスフィルタ・ローパスフィルタにより、脈動圧力、平均圧力を周波数調整して加算し出力します。温度影響を受けにくく排気圧力の絶対圧力を算出できる画期的なシステムであります。信号出力は高性能アイソレートアンプにより分離されているためノイズ混入が極めて小さくシグナルノイズ比(S/N 比)の少ない高精度計測が可能です。

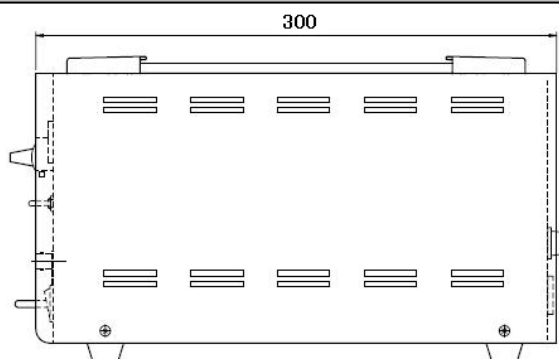
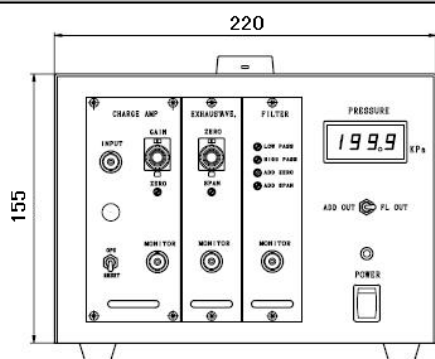
特徴

- 計測レンジ 0 ~ 100kPa, DC ~ 5kHz の広帯域特性
- 強制水冷型圧電センサにより 800 まで計測可能
- ストレインゲージ型平均圧力センサは細管による排気熱分離で高精度
- 平均圧力と脈動圧力および合成絶対圧力の 3 出力モード
- 高性能アイソレートアンプにより出力信号分離で S/N 比が良い

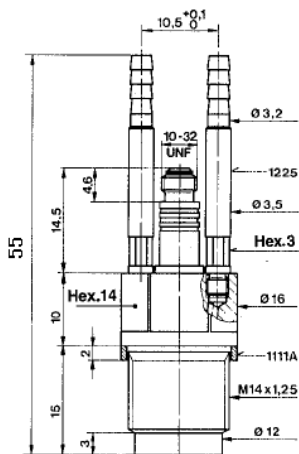
性能仕様

GCM-200 ガス交換圧力計測システム	
測定項目	排気圧力
センサ型名	KIG : 7061/SOKKEN : PSI100
センサ外形	KIG : 7061(脈動圧用) 14mm/1.25 SOKKEN : PSI100 1/8 メス標準
圧力測定モード	ゲージ圧力
波形出力モード	絶対圧力
測定レンジ	0 ~ 100kPa・Gauge
過大圧力	200kPa
精度(L+H+R)	± 1% FS
センサ感度	0 ~ 100kPa・Gauge : 0 ~ 10V
使用温度	20 ~ 800 (強制水冷型)
温度ドリフト	± 3% FS/100
固有振動数	30kHz (脈動側)
周波数特性	DC ~ 5kHz
センサ最大衝撃	100G

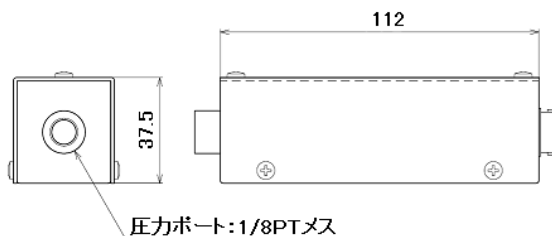
外観図



本体外形図



排気脈動圧力センサ(7061)



排気平均圧力センサ

本仕様は予告なく変更することが御座います。

製造, 販売元: 株式会社司測研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤 1-19-4
TEL : 03-3703-4391
FAX : 03-3705-0756

代理店: